

希 望

やっぱり皇中がすき♡

【大津市立皇子山中学校だより】
令和3（2021）年4月8日発行
第1号 生徒数：759名
【学校教育目標】
「皇子山中学校・校区」を愛し、
校区の次代を担う生徒

入学おめでとう！！ 進級おめでとう！！

さわやかな花の香りに包まれ、思いも新たに生命萌ゆる季節を迎えました。269名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。223名の新2年生・246名の新3年生のみなさん、進級おめでとうございます。今日から令和3年度がスタートし、皇子山中学校の新たな歴史が刻まれることとなります。

本校では、学校教育目標を「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒の育成と定め、教育活動に取り組んでいきます。759名の生徒のみなさんには、以下の3つの生徒像の実現を目指して学校生活を過ごしてほしいと思います。

- ①「やっぱり皇中が好き」といえる生徒（愛校心）
- ②「皇中生」としての誇りを持てる生徒（自信と誇り）
- ③「皇中校区が好き」といえる次代を担う生徒（校区愛）

「皇中が好き」「皇中校区が好き」といえるように、まず「自分が好き」「周りの人（家族、友達、先生）が好き」と思えるようになってください。そのためには、新しいめあて（目標）を掲げて、新しい自分を探すことから始めてみましょう。

季節が変わりました。景色が変わりました。学年が変わりました。学級の仲間が変わりました。担任の先生が変わりました。まわりの変化とともに新しい自分を見つけてみてください。

新入生のみなさんは、初めての中学校生活で、どんなことをがんばってみたいですか。

2年生のみなさんはどんな先輩になりたいですか。また、どんなことに力を入れたいですか。

3年生のみなさんは最後の中学校生活をどんなふうに過ごしたいですか。そして、どんな進路を思い描きますか。

ナポレオンの言葉に「人は自分が思い描いたとおりの人になる」という言葉があります。みなさんも「向上したい」「自信を持ちたい」「〇〇をがんばりたい」「こんなふうになりたい」と願い、「あせらず、たゆまず、おこたらず」に、一步一步前進してください。教職員一同で、759人一人ひとりの願いやがんばりを応援していきます。

〈保護者の皆様〉

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が収束をみない中、今後も子どもたちにとってはストレスを感じる日々が続くと思われまます。ご家庭での温かいお声かけを、引き続きよろしく願いいたします。

至らない点もあろうかとは存じますが、全教職員一丸となり、専門性を発揮し、深い愛情で、次代を生き抜く子どもたちを育ててまいりますので、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

★★新任・転任の教職員★★

平松教頭先生をはじめ多くの先生方が転任されました。在任中、皇子山中学校を支えてくださった先生方のさらなるご活躍を祈念いたします。同時に、新転任の教職員が加わり、新たなメンバーで皇子山中学校のさらなる発展に全力を挙げて取り組みたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

〈メール配信登録のお願い〉

本日、メール配信登録についての文書を配布させていただきました。新型コロナウイルス関係の連絡もメール配信をさせていただきますので、登録をお願いいたします。



〈1・2年生の下駄箱が新調されました〉

新年度が始まるのと同時に、1・2年生の下駄箱が新しくなりました。令和2年度、PTAから新調した下駄箱の半分を寄贈していただきました。感謝の気持ちを持って、美しく使っていきましょう。それと同時に、みんなで下駄箱に靴を揃えて入れましょう。スカッと靴が揃っていると、誰が見ても気持ちよいものですね。

ところで、みなさんは「**脚下 照顧（きゃっかしょうこ）**」という言葉を知っていますか。教育哲学者の森信三氏が提唱した「しつけの三原則」のひとつです。森氏は、三原則の中でも特に「靴(はきもの)を揃える」ことに徹底的にこだわっていました。彼の考えによれば、「靴を揃えると心も揃う」からだそうです。**脚下照顧（きゃっかしょうこ）**は、「まず自分の足元をよく見つめよ」という禅の教えで、心を揃え・整えることに通じるものがあります。「玄関で靴を脱いだり履いたりする時には、あなたの足元に気をつけなさい」という注意とともに、「自分の行動を見つめ直してよく考えるべきである」という自己反省の教えでもあります。みんなで靴を揃え、心穏やかにいきいきと過ごせるといいですね。

